

【学校教育目標】「確かな学力 豊かな心 健やかな体」
知・徳・体のバランスのとれた力を育くむ

伊岐佐小学校便り No. 3
令和 7 年 4 月 28 日発行
文責 校長 市丸 明彦

キラ・ニコ・ドン・パツ

キラキラ輝く子ども ニコニコ笑顔の子ども ドンドン挑戦する子ども パツと行動する子ども



朝のあいさつでプラスの心

先日、ある研修会で「皆さんは、朝起きたら『おはよう』と言っていますか。ご主人は奥さんに、奥さんはご主人に、そして家族で『おはよう』と言っていますか。」と問いかけられました。

我が家は家族で『おはよう』と交わしているかなと思いながら聞いていました。その講師は、最後に「夫婦円満、家庭円満の秘訣は朝の挨拶にあります。もし、挨拶をしていないのなら、明日からでもぜひ行ってください。きっと変わります。」と結ばれました。

さて、『おはよう』という朝の挨拶は、「自分の心を開いて相手に向き合う」ための一言です。自分から心を開くわけですから、少し勇気が必要です。そして、朝の挨拶は、挨拶をする相手に対して、次の3つの意味を含めた言葉だと思います。

1. 相手の存在を認める（あなたは私にとって大切な人）
2. 相手の幸せを祈る（今日も1日、どうかご無事で）
3. 相手との良好な関係を願う（今日も1日、よろしく）

これらはどれも『プラスの心』です。朝の挨拶の習慣が無かった人が『おはよう』と言うことを習慣にすることで、プラスの生活習慣にすることもできると思います。

私たちの心は、プラスにもマイナスにも働きます。だからこそ、毎日の小さな行いを通して、プラスの心の生活習慣を心掛けたいものです。

自分にできることを通して、プラスの心を生活習慣にしていけば、きっと自分も幸せになり、周りにも幸福感を与えることができそうです。まずは、朝の挨拶から各家庭で取り組んでみましょう。



授業参観・学級懇談会・育友会総会への参加

ありがとうございました

先週24日（木）には、大変お忙しい中に、多くの方々に子ども達の様子を参観していただきました。

各学級の授業では、元気に発表して普段以上に張り切っている子や少し照れくさそうに発表している子など様々ですが、私が本校に勤務して強く感じることは、「元気な子が多い」ということです。朝の挨拶もそうですが、昼休みになると外から元気な声が毎日聞こえてきます。元気があれば、自然と笑顔もこぼれてきます。友達とケンカして嫌なことがあってもすぐに立ち直れます。私たちは毎日、子ども達から元気をもらっています。これからも、子ども達の元気な姿がたくさん見られるように全教職員でしっかりと取り組んでいきます。

